

《委員会報告》

宮崎有恒 会長エレクト

3月22日(日)島原市にて「会長エレクト研修セミナー」が開催され、野口バスターガバナーと地区会員増強委員長による二つの講演がありました。その後各グループに別れて、第6グループ 猪一郎ガバナー補佐(南ロータリークラブ)との協議会がありました。

小西宗十 創立25周年記念誌委員

会員の皆さまへの原稿依頼状をセルフBOXに入れております。「ロータリーと私」というタイトルでお書き下さい。締切は4月20日です。

松尾辰二郎 副会長

ノーベル化学賞を受賞した下村脩博士(80歳)の名誉市民顕彰式が佐世保市議会議場であり、鳥越会長の代理として出席して参りました。

峯 徳秀 北斗会会計

3月21日(土)石盛岳ゴルフコースで開催された佐世保北ロータリークラブの“北斗会”と佐世保中央ロータリークラブ“中央会”とのゴルフの対抗戦がありました。佐世保北ロータリークラブは4回連続の敗退でした。また、4月25日(土)石盛岳ゴルフコースで第37回佐世保市内8ロータリークラブ親睦ゴルフ大会の申し込みの案内が届いています。この日に第5回の“北斗会”も兼ねて開催しますので奮ってご参加下さい。

棧 護 地区米山奨学委員

幸 筱筑さんより、お礼にということで全員に台湾の「杉林溪茶」を頂いています。お持ち帰り下さい。

《会員卓話》

「私の60年を振り返って(木材人生の中で)」

鈴木正昭 会員

1. レジャー部門時代：(1971-1974)

諫早パークレーンでの3年間

大学卒業が目に見えて、就職活動で長谷川工務店(現在、長谷工)に内定を受けてましたが、父の新規事業でボーリングを始めるともことで帰佐し、諫早パークレーンの建設から携わり1971年から1974年まで支配人として携わる。

2. 南洋材時代：(1975-1985)

父、鈴木彦五郎が1974年に急性心筋梗塞にて他界したのを受けて、南洋材の製材工場をメインにする、西日本外材(株)に転勤し、フィリピン、インドネシア、パプアニューギニア、タイなどから輸入する主にラワンと呼ばれる南洋材の仕入れ、販売業務に携わる。フィリピンでは主にミンダナオ島のダバオ、カガヤンディオロ、ブツアンという町を飛び交いながらの原木仕入れの検品に従事しておりました。

3. 北米材時代：(1986-1994)

伊万里外材(株)にてアメリカ、カナダの原木、製品、2X4材の仕入れ、販売に携わる傍ら、2X4材の普及に向けての建築関係への進出などにも携わる。アメリカでは西海岸のシアトル、バンクーバー、ポートランドなどロッキー山脈からの木材が主な輸入材。どちらかという、日本では梁に使う米松(ダグラスファー)が主な木材。2X4に使う材は日本ではスプルースファーですが、アメリカではダグラスファーが主。

アメリカから輸入される広葉樹はオークなどがありますが、東海岸の山地が主になります。

4. 集成材時代、プレカット時代：(1995-2000)

ラミネートという、日本では板を3枚、5枚、7枚、11枚とか重ねて、強度のつよい材、クセリのない材をつくる集成材の輸入に携わる。

フィンランド、ノルウェー、オーストリアなどや、現在ではロシアのイルクーツクからツンドラ地帯からも輸入。

5. 木造建築(大断面木造、一般木造住宅、ログハウス) (2001-2009)

6. 上海で長崎県の委託で木造記念館を建築中

《ハイライトよねやま》

台湾学友会が日本人対象の奨学金制度を設立

日本のロータリアンへ恩返しをしたい——。かつて米山奨学生として日本で留学生時代を過ごした台湾学友たちの熱い思いが、形になりました。

台湾学友会(正式名称:社団法人中華民国扶輪米山会)が立ち上げた「日本人若手研究者対象奨学金制度」は、台湾の大学、大学院で学ぶ日本の若者へ奨学金を支給し、日台の絆を深める人材を育てようとするもの。学友の一人が「カウンセラー」となって台湾での留學生活を支えます。

奨学金の原資は、学友からの寄付で成り立っていますが、日本の岡山丸の内ロータリークラブからも「今回の奨学金プログラムのために」と、5万円の寄付が寄せられたそうです。

台湾学友会の阮允恭理事長は「企業に大きな寄付を頼めば基金は増えるが、それでは私たちの気持ちが飛んでしまう。一人ひとりが恩返しの気持ちで寄付を出し合い、実現することに意味がある。徐々にその気持ちを広げて、台湾全土に米山の花を咲かせたい。」

台湾学友会の活動は、さざ波のようであっても末永く続けていきたい」と、語ってくれました。

現在、米山記念奨学会事務局が窓口となって第1期生を募集しています。台湾留學を希望する方は、ぜひご応募ください(応募締め切り4月30日)。詳細は米山記念奨学会事務局まで。

学友会がまた新たに誕生！ — 第2620地区 —

今年度2つ目の新たな学友会が第2620地区(静岡県・山梨県)で誕生しました。

約1年前から学友会設立に向けて組織作りをすすめてきた同地区では3月1日、静岡市内で学友会設立総会を開催。

総会には板橋敏雄理事長が招かれ、米山記念奨學事業

国内で学友会がない地区は第2800地区（山形県）のみとなりましたが、同地区においても学友会設立に向けて準備がすすめられています。